

開 会	
委員長	<p>予定の時間となったのがまいりましたので、今年度最後の行政評価委員会を開催する。本日の傍聴希望者はありますか。</p>
事務局	<p>本日の傍聴希望はありません。</p> <p>では、本日の次第に従い、議題1「第4回行政評価委員会のまとめについて」から審議を始める。資料1が第4回行政評価委員会の議事録になる。議事録の内容について確認願いたい。</p> <p><各委員 議事録を確認></p>
委員長	<p>委員より指摘のあった箇所については事務局で修正対応願いたい。では次に、資料2について、第4回(9/5)行政評価委員会のまとめ(評価案)の内容を確認願いたい。順番に確認していくので、付け加える点、訂正等あれば、意見をお願いしたい。ただし、前回の審議対象だった施策展開の方針(施策評価表)の担当室の方が、前回のように出席されているわけではないので。その点、了承願いたい。</p> <p><各委員 まとめ案を確認></p>
委員長	<p>委員より指摘のあった箇所については事務局で表現を工夫して欲しい。その上で私の方で最終確認することとしたい。</p>
委員長	<p>次は、議題2「施策展開の方針」のまとめ(案)について。第1回～第4回まで審議して、「施策展開の方針」ごとにまとめ(案)を作成しましたが、それをひとまとめにしたものが資料3。それぞれのまとめ(案)を、今一度読み返してみて、表現を統一したほうが良いとか、もう少し強く表現したいといった点があれば、修正したい。意見等あればお願いしたい。</p> <p><各委員 まとめ案を確認></p>
委員長	<p>意見等がないようなら、次の議題に移りたいと思う。</p>

委員長

次は「行政評価委員会の全般的な講評について」審議したい。

委員会としての講評を取りまとめるにあたって、事前に委員の皆さんから意見を事務局へ提出していただき、それをまとめたものが資料4。前回の委員会から時間が無く提出が間に合わなかった委員もいると思うが、まずは各委員から、それぞれのご意見について発言いただき、その上で、どのように最終的な取りまとめを行うのか、審議したい。

<各委員 順に意見・講評について発言>

委員

総合計画の評価を行い市のマネジメントサイクルに反映させていくという面から見て、施策の必要性やニーズ、市の関与の必要性、協働の進捗状況など、全般的に言って行政評価委員会の中で一定の評価を行えたのではないかと。ただ、総合計画の性格上、なぜその施策を市が進めるのかといった、細かな議論を行うことができなかったのが反省点。

行政評価の役割の一つとして「アカウンタビリティ」がある。なぜその施策を市が行うのか、手段としての事務事業がなぜ必要なのか、実施効果・成果を市民に説明し納得してもらおうという観点からの評価を行う必要があるが、3年間の評価において各担当部局の方が丁寧に質疑に答えていただいたと思う。

反省点として、施策・事業の実施が他団体に委託されていたりするため、事業の中身について詳しい指摘ができなかった。また、国の法令に基づく事務事業への指摘があまりできなかった。国・県の補助金がある場合、不必要に事業費が増えるのではないかと。また、時代にそぐわない事務事業が多くなる。補助金に依存する、団体、市民が多くなるのでは。そのあたりの指摘をもう少し進める必要があった。

委員

市民目線ということで、私は市で仕事したこともなく、あくまでも民間ベースの経験から意見を述べるが、今年度は4分野、26施策について審議を行った。その中で、目標値が設定されていない指標が40、指標のない施策が2つあった。これを民間にあてはめるのがよいかどうかは分からないが、実績値の推移のみで目標値が設定されていないものについては、改善方策を打ち出すことができない。まして指標のない施策については、施策の進捗を確認できないので、このようなものを施策として掲げることに疑問を感じた。民間ではこういったことは考えられない。民間では四半期ごとに進捗をチェックし、ダメなときは途中でやり方を変える。市ではそうっておらず考えに差がある。協働は同じ目

委員

線でなければ難しい。次の総合計画では目標・指標をはっきりと示してほしい。

3年間委員を経験し、すごく良い経験になった。「観光・文化・産業」分野に関しては、「農業」や「植木」分野など、生活者の視点からは意見を申しあげるのが難しかった。宝塚市を「住宅都市」とするか「観光都市」とするべきか、このまちをどうしていくのかがはっきりと打ち出されていれば、もう少しはっきり意見を言えたと思う。

現在、総合計画後期基本計画の検討委員会において施策の振り返りを実施している。若手の職員が施策の説明などの担当をしてくれているが、行政評価委員会で見落としした意見を指摘する委員もおられ、新しい視点、気づきをいただくことが多い。そのため、3年間に渡って評価をするのであれば、分野ごとの専門家に参加してもらってもよいのではないかと考える。

私たちの意見や提案は、担当部署のみだけでは対応ができない。すべての事業が網目のようにつながっており、複数の部署が協働することで実現できるようになる。ぜひ、庁内の各部署が連携をとり改善ができることから進めていっていただきたい。一方、行政だけでなく、協働の相手である市民もよりよい協働の実現に向けて動くことが必要。グループ同士の連携が必要であり、行政と繋がるだけでなく、市民間の繋がることで良い結果が得られるという視点が必要。

委員

本年度から参加のため過去2年は分からないが、本年度の評価対象について、まず、宝塚ブランドに関しては数があまりにも多すぎる。ブランドとは他の地域に無い物、他の地域より優れた物、秀でているものがブランド。冠に宝塚とつけばブランドとの考えがあるように思える。それ故に真のブランド力が薄められている可能性あるように感じる。選定している宝塚ブランドがはたしてどれだけPRになったのか考えてみてほしい。

産業の育成について、例えば農業などは農地解放の影響で豪農が少なくなり小さな農家が増えた。農業だけで生活できないのは今に始まったことではない。農産物のブランド化など、もう一段の工夫が必要ではないか。

子供支援に関しては育成と指導の部分を明確にして欲しいと感じる。指定管理者制度について、様々な意味で透明性を高めていく必要があるのではないか。

委員

今回の施策評価にしても、市の職員は評価表の作成など頑張ってくれていると思うが、市民の現場の思いとの間に少し差があると感じる。現場を知り共に参加する姿勢が欲しい。

住民も入って行政評価を行うわけだが、住民が関わる、住民自身の育ちにもつながっていくことが大切。総合計画の策定でもそうだが、終わったら何も残らないでは意味が無い。例えば施策の下にはたくさんの委員会がぶらさがっている。その委員会の委員が施策の評価を行う形になれば次につながっていくのではないか。

委員長

各委員の意見・評価はできる限り総評に反映できるようまとめてみたい。3年間忙しい夏場の時期に集まっただき熱心に議論いただいたことに感謝したい。委員意見の中にもあったが目標値を決めて実績値と比較する評価手法を業績測定という。自治体の評価においてこの業績測定の手法を用いるのは少し難しいのではないかと感じている。明確な目標値を定めることが難しいし、守れなくても職員にペナルティがあるわけでもない。むしろ、対象の施策分野をよく知っている人、地元の人、評価に詳しい人間に集まってもらい、業務担当者にヒアリングを行いながら事業の進捗や効果を測っていく手法の方がよいのではと感じている。第6次総合計画の策定の際はその辺りも意識して目標、指標を決めてはどうか。また、施策評価表のレイアウトも見づらいところがある。リース導入しているから簡単に修正できないだろうが、将来的には見直してほしい。評価表には、どのような計画で、どんな事業で、予算がどうで、成果がどうだったかが書かれているわけだが、現場を知るといっても大切してほしい。

私も特定分野の専門家ではないので、評価、意見を言う際には言い過ぎないように注意していた。とはいえ、宝塚にはまだまだ減らせる部分、削れる部分があるように思える。ただ、どこをどう削るかは市長のリーダーシップ、議会の議論、市民のニーズによって決まってくる。そのあたりを含めた宝塚の今後のビジョンは、市民も参画しながら議論を行って決めていくべき。

委託事業のアカウントビリティは重要。市民から見てもう少し内容が見えるようにすべき。全体として事業が大括りすぎて中身がはっきり見えないといった印象を受けた。

委員長

では、本日の各委員の評価、意見をもとに総評をまとめたいと思う。3

	<p>年やって施策を一顧したわけだし、各委員から感想意見、市政への期待等を書いてほしい。</p>
事務局	<p>9月17日までにメールにて事務局あて提出をお願いしたい。集約の上委員長に提出する。</p>
委員長	<p>では第5回の行政評価委員会はこれで終了する。ご苦労様でした。</p>